

令和4年度 学校推薦型選抜 (理学院)

学生募集要項

出願期間	令和3年12月17日(金)～12月21日(火)
合格者発表日	令和4年2月15日(火)
入学手続日	令和4年2月21日(月)

入学希望者へのメッセージ

誰も見たことのない未来をつくりだせ

世界はいまだ謎に満ち、課題にあふれています。生命はいかにして誕生したのか。人工知能は医療を、経済を、社会を、どう変えるのか。病に伏した人をどう癒すのか。宗教間の対立は止むことはなく、エネルギー問題も重くのしかかっています。一朝一夕には答えの見いだせないこうした謎や課題をめぐって、いまこの瞬間も、世界中の科学者や技術者、その他各分野の専門家たちが、その叡智をかけて議論しあっています。真理の探究と幸せの追求をかけた人類のあくなき挑戦。その壮大な歩みに、あなたは仲間入りしようとしています。

1881年に創立されて以来、時代を切り拓くフロントランナーとして、理工系総合大学としての使命を担ってきた東京工業大学。目指すのは、科学技術の強い基盤を持ちながら、従来の“理系”の枠を超え出ること。なぜなら、どんなに高度で専門的な知識でも、ただそれを持っているだけでは、わくわくするような発見や発明に出会うことも、困難な問題を解決に導くことも、決してできないからです。だからこそ、本学の門を叩こうとするあなたには、以下のような心構えを持つてのぞんでほしい。“理系”の枠に安住しない人を、本学は求めています。

①高い志を持ってほしい

これからの時代、ただ引かれたレールに乗っかっていくだけ、ただ自分の専門に没頭するだけでは通用しません。あなたは将来、何を為したいのか。社会に、どんな貢献をしたいのか。高い志を持ち、それを育てる人であってほしい。その志にかたちを与えるのが科学技術です。東工大は、志をかたちにしようとする人を支えます。失敗をおそれず挑戦し、すすんで学ぶ人を歓迎します。

②多角的な視点を持ってほしい

常識や「空気」にとらわれた思考では、新しい発想は生まれません。自分の強みを持ちつつ、幅広い分野に興味を広げ、専門の異なる人や文化の異なる人とも協働できる柔軟な姿勢を持って、世界にはばたいてほしい。ものごとを多角的にとらえる視点からこそ、「そんな考え方もあったのか！」と人々を驚かせるアイディアは生まれます。人と人、知と知を結びつけようとする人を本学は求めます。

さあ、誰も見たことのない未来を、ともに作り出していきましょう。気概あるみずみずしい知性と出会うことを、期待しています。

〈学士課程〉 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

科学技術への知的好奇心や探究心と社会に貢献したいという志を有し、その基本的概念や基礎知識とそれを活用できる力を身に付けた人材を求めます

求める力

専門力	理数系分野に関する基本的概念や基礎知識
教養力	社会に関する基礎的知識と語学力
コミュニケーション力	自らの考えを具体的に表現できる力
展開力	論理的に思考して自らの知識を活用できる力

各学院が求める人材像

【理学院】

理学院学士課程では、幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。そのために次のような学生を求めます。

- ・自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
- ・教わるだけでなく、自ら主体的に学ぶことができる人
- ・自分の意見を持ち、他者と議論することができる人
- ・十分な学力と表現力を持つ人

【工学院】

工学院学士課程では、人の生活を豊かで快適なものとするための工学的知識・技術を習得し、さらにそれらを進化させるための研究活動の基本を身につけます。そのために、次のような人材を求めます。

- ・工学的知識・技術を活かして人類と社会の発展に貢献しようという高い志を有する人
- ・自らの能力向上のために積極的に学ぶ意欲をもつ人
- ・工学を学ぶために、理数系科目を中心とする確実な基礎学力を身につけた人
- ・論理的思考力を有し、他者と意思疎通できる基本的なコミュニケーション力を備えた人

【物質理工学院】

物質理工学院学士課程では、材料科学および応用化学に関する確かな基礎学力と明快な論理的思考力を持ち、環境調和型社会の発展に貢献できる人材を養成します。そこで、次のような学生を求めます。

- ・自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し、柔軟な発想ができる人
- ・材料や応用化学に関係する諸現象について積極的に学習する意欲がある人

【情報理工学院】

情報理工学院学士課程では、よりよい情報化社会を築くために必要となる情報理工学に関する幅広い知識と柔軟で広い視野を持った人材の育成を目指します。そのために、次のような資質と能力を持つ人材を求めます。

- ・数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人
- ・数理工学に興味を持ち、コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人
- ・情報理工学の知見を活かし情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人

【生命理工学院】

生命理工学院学士課程では、理工系の基礎知識や生命理工学分野の基礎的専門知識を修得させ、生命理工学に関連した科学・技術の発展に資する課題解決力と倫理観を養います。そこで、本学院では次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している人
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる人
- ・生命理工学の専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人
- ・生命現象を探究し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している人

【環境・社会理工学院】

環境・社会理工学院学士課程では、人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学の叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに、高い知性と豊かな教養、国際的な広い視野と深い思考能力を備え、科学・技術の専門家として社会で活躍できる人材を養成する。そこで、本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。

- ・理数系分野に関する基本的な概念や確実な基礎知識を持つ人
- ・学士課程の専門力を身につけるため必要となる基礎的な語学力を持つ人
- ・自らの能力向上のため主体的に理工学分野ならびに人文社会科学分野について学ぶ意欲を持つ人
- ・人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

I. 求める学生像

理学院は幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。このために次のような学生を求めています。

1. 自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
2. 教わるだけでなく、自ら主体的に学ぶことができる人
3. 自分の意見を持ち、他者と議論することができる人
4. 十分な学力と表現力を持つ人

II. 募集人員

学院	系	募集人員
理学院	数学系	8人
	物理学系	
	化学系	
	地球惑星科学系	

※募集人員は上記のとおりです。なお、「系」の欄は2年目以降で所属可能な系を示しています。

III. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、学校長が責任をもって推薦できる者とする。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を令和4年3月修了見込みの者

IV. 推薦要件等

1. 推薦人員

学校長が下記の推薦要件①及び②により推薦できる人数は合計2名までとします。
推薦要件③により推薦できる人数は制限がありません。

2. 推薦要件

理学における高い能力を示す下記の①、②、③のいずれかに該当し、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

- ① 正規の授業科目の一環として実施した課題研究（理学及びそれに関連した内容に限る）で主導的な役割を果たし、優れた成果を挙げてそれをとりまとめて発表した者

課題研究の例 1. SSHの課題研究で〇〇〇に関する研究を行い、全国または地域の研究交流会等で発表。

課題研究の例 2. 卒業研究として〇〇〇に関する研究を行い、校内で発表。

課題研究の例 3. 総合学習で行った研究成果を大学主催や地区の研究交流会等で発表。

- ② 課外活動において理学に関連した研究を行って優れた成果を挙げ（主導的な役割を果たしたことが必要）、それをとりまとめて校外で発表したことを客観的に示す資料を提出できる者

課外活動の例 1. 〇〇部のクラブ活動で2年間継続して研究を実施し、校外の参加者も含む学校内外で開催の研究会、研究交流会等で発表。

課外活動の例 2. 夏休みに10日間継続して△△で野外調査を実施し、校外の参加者も含む学校内外での研究会、研究交流会等で発表。

- ③ 数学、物理、化学、地学のいずれかの国際科学オリンピックに日本代表として出場した者、又は国際科学オリンピックの国内予選に相当する地区大会等で優秀な成績を収めた者

※ 上記の推薦要件①及び②における「優れた成果」とは、学校内で現在及び過去の生徒との比較において優れていると学校長が認定できるものを指します。

V. 出 願

1. 出願期間 令和3年12月17日(金)～12月21日(火) (12月21日必着)
2. 出願方法 郵送のみ受け付けます。出願書類等は、必ず当該学校長からの提出とします。本学所定の封筒に入れ、必ず「速達書留」で郵送してください。なお、志願者数名分の出願書類等をまとめて郵送する場合は、1名分ごとに本学所定の封筒に封入し、別の封筒(任意)にとりまとめて「学校推薦型選抜願書〇名分在中」と朱書のうえ、「速達書留」で郵送してください。
3. 出願書類等 出願書類のうち、ア、イ、エ、オ、キ及びクは本学所定のものを使用してください。

出願書類等	摘 要
ア 入学志願票・電算処理票	必要事項(太枠内)を記入してください。記入漏れのないようにし、用紙は切り離さないでください。
イ 写真票・受験票・受理票	写真票・受験票・受理票の必要箇所(太枠内)に志願者の氏名・フリガナを記入し、写真票の写真欄には、半身脱帽正面向で出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm, カラー)を貼ってください。また、受験票裏面に志願者の郵便番号・住所及び氏名を、受理票裏面に当該学校の郵便番号・住所及び学校名を記入し、それぞれに 63円分の切手 を貼ってください。受験票及び受理票発送は12月24日(金)の予定です。1月4日(火)までに届かない場合は、1月5日(水)以降入試課へ問い合わせてください。
ウ 大学入学共通テスト成績請求票	大学入試センターから交付された、 令和4共通テスト成績請求票 のうち、『 推薦 国公立学校推薦型選抜用』を電算処理票の所定欄に貼ってください。
エ 推薦書(様式1)	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦要件① 推薦書(課題研究用) ・推薦要件② 推薦書(課外活動用) ・推薦要件③ 推薦書(国際科学オリンピック又はその国内予選相当の大会の出場者用) のいずれかの様式を用いて、当該学校長が記載してください。様式は本募集要項には添付しておりません。本学ホームページの「高校生・受験生向けサイト」(巻末参照)よりダウンロードして(word形式)作成してください。※注意事項をよく確認したうえで作成してください。
オ 研究内容の要約(様式2)	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦要件① 課題研究の内容の要約(課題研究用) ・推薦要件② 課外活動における研究の内容の要約(課外活動用) のいずれかの様式を用いて、志願者本人が記載してください。様式は本募集要項には添付しておりません。「高校生・受験生向けサイト」よりダウンロードして(word形式)作成してください。※注意事項をよく確認したうえで作成してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・推薦要件③による出願の場合は不要です。
カ 調査書	学校長が発行した調査書(厳封されたもの)を提出してください。
キ 入学検定料	17,000円を別添の払込取扱票にて郵便局・ゆうちょ銀行又は金融機関で払い込み、「振替払込受付証明書(お客さま用)」を電算処理票の所定の貼り付け欄に貼付してください。なお、 一度納入した入学検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。 ※入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により災し、災害救助法(昭和22年法律第118号)の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。下記のような場合に免除となりますが、詳しくは出願期間前に入試課までお問い合わせください。 <ol style="list-style-type: none"> ①主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出した場合。 ②主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合。
ク 住所票	志願者及び当該学校の住所、氏名等を記入してください。
ケ その他(該当者のみ)	日本国籍を有しない者は、在留カードの両面の写し(在留期間満了日前であれば外国人登録証明書でも可)又は、国籍及び在留資格を確認できるもの(パスポートの写し、在日公館の証明書等)を提出してください。

4. 障害等のある志願者は、修学上の配慮を必要とすることがありますので、事前に入試課に申し出てください。

VI. 推薦書記載事項 (学校長による記載)

各推薦要件における推薦書記載事項について

1. 推薦要件① 推薦書 (課題研究用)

- ・ 課題研究を行った科目名 (総合的な学習等の一部として行った場合も含む)
- ・ 当該課題研究が特に優れていると判断される理由
- ・ グループで研究を行った場合は志願者の果たした役割を明示すること
- ・ 学業や人物に関する所見

2. 推薦要件② 推薦書 (課外活動用)

- ・ 課外活動で行った研究の題目
- ・ 当該課外活動における研究が特に優れていると判断される理由
- ・ グループで研究を行った場合は志願者の果たした役割を明示すること
- ・ 学業や人物に関する所見

3. 推薦要件③ 推薦書 (国際科学オリンピック又はその国内予選相当の大会の出場者用)

- ・ 出場した国際科学オリンピック又はその国内予選に相当する大会について
(名称・開催年月・開催場所, 入賞記録等の成績の詳細)
- ・ 学業や人物に関する所見
- ・ 添付資料及びその簡単な説明 (2点以内) (国際科学オリンピック又はその国内予選に相当する大会における入賞記録等, 収めた成績を証明する書類のコピーを含む)
※添付資料 (図や写真及びそれらの説明等) は合計でA4片面4ページ以内とします。

VII. 研究等の内容の要約 (志願者本人による記載)

1. 推薦要件① (課題研究) の場合

- ・ 課題研究の内容の要約
- ・ 添付資料及びその簡単な説明 (2点以内)
※添付資料 (図や写真及びそれらの説明等) は合計でA4片面4ページ以内とします。

2. 推薦要件② (課外活動) の場合

- ・ 課外活動における研究の内容の要約
- ・ 添付資料及びその簡単な説明 (2点以内)
※添付資料 (図や写真及びそれらの説明等) は合計でA4片面4ページ以内とします。

3. 推薦要件③ (国際科学オリンピック又はその国内予選相当の大会の出場者) の場合

- ・ 提出不要

VIII. 入学者選抜方法

個別学力検査を免除し, 大学入学共通テスト (以下「共通テスト」という。) の成績, 推薦書, 研究内容の要約並びに, 調査書の内容のうち学業成績及び推薦理由に関する部分を総合的に評価し, 合格者を決定します。

IX. 共通テストの受験を要する教科・科目

志願者は、以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。
なお、指定された教科・科目を1つでも受験しない場合は、合格の対象とはなりません。

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史、 公民	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「現代社会」, 「倫理, 政治・経済」 から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」の2科目
理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目
外国語	「英語(リスニングを含む)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1科目

注. 「地理歴史、公民」において、指定した科目数を超過して受験した場合には第1解答科目の得点を用います。ただし第1解答科目が本学が指定した科目でない場合には、合格の対象とはなりません。(この場合の第1解答科目とは、「地理歴史、公民」の試験時間に2科目を受験した場合において、前半の60分間で解答した科目のことをいいます。)

3. 各教科の配点

共通テストの各教科の配点は、下表のとおりです。

教科	国語	地理歴史、 公民	数学	理科	外国語※	合計
配点	200	100	200	200	200	900

※ 外国語科目として「英語」を選択した場合、200点の内訳は【リーディング】100点、【リスニング】100点とします。
なお、「英語」を選択し、【リスニング】を免除された者は、【リーディング】の配点100点を200点に換算した得点とします。

X. 合格者発表

- 令和4年2月15日(火) 12時頃より本学ホームページの「高校生・受験生向けサイト」に掲載します。(PDF形式)
また、合格者発表と同時に合格者に対して、合格通知書及び入学手続関係書類を発送します。
- 可否に関する電話・メール等による問い合わせには一切応じません。

XI. 入学手続等

入学手続は郵送のみで行います。

2月21日（月）必着とし、必要書類を速達書留により郵送してください。詳細な手続事項は、合格者発表日に郵送する入学手続関係書類を参照してください。

1. 入学料・授業料について

- (1) 入学料282,000円（予定）は、所定の払込取扱票を用い、郵便局・ゆうちょ銀行又は金融機関で2月18日（金）までに払い込んでください。入学手続書類が届かなかった等の理由により、2月18日（金）中に入学料を払い込めなかった場合、E-mailにてその旨を連絡してください。
- (2) 授業料は、前学期分・後学期分各317,700円（年額635,400円）（予定）です。納付は、前学期分5月末まで、後学期分11月末までとなっています。納付期限の変更が行われた場合、その都度本学ホームページに掲載します。入学後、口座振替での納付となりますので、3月9日（水）に本学より郵送する書類に基づき、手続を行ってください。（やむを得ず口座振替での納付ができない場合には、払込取扱票による振込も可。）
- (3) 入学料・授業料免除を希望する者については、入学料・授業料を払い込まず本学より郵送する書類に基づき、手続を行ってください。
- (4) 授業料は希望により、前学期分の納付の際に後学期分も合わせた年額を納付することができます。
- (5) 在学中に授業料改定が行われた場合、在学生に適用する授業料額については、その都度公示します。

2. その他諸経費

- ア 各種保険等（30,000円程度）
- イ その他

XII. 入学辞退

学校推薦型選抜の合格者の入学辞退は認められません。ただし、特別な事情により本学に入学することができなくなった場合においてのみ、推薦を行った学校長からの「推薦入学辞退願」（様式任意、受験番号、氏名、具体的な辞退事由を必ず記載）を、本学入試課に提出し、辞退の許可を得てください。提出期限は、郵便による提出の場合は速達書留で令和4年2月18日（金）必着、窓口で直接提出する場合は令和4年2月21日（月）12:00までとします。許可された者は、本学又は他の国公立大学等の一般選抜を受験することが認められます。

XIII. 学校推薦型選抜出願者の一般選抜への出願

本学の学校推薦型選抜出願者は、本学又は他の国公立大学等の一般選抜に出願することができます。

ただし、本学学校推薦型選抜に合格した場合、本学の一般選抜を受験することはできません。一般選抜に出願した者は、一般選抜の検定料のうち13,000円を返還しますので、一般選抜のインターネット出願サイトの「申込確認」よりマイページにログインし、返還手続きをしてください。

また、本学学校推薦型選抜に合格した場合、他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格の対象とはならないので注意してください。（XII. 入学辞退により辞退が許可された者を除く）

XIV. 感染症予防について

出身国により予防接種状況が異なる背景や、本学の感染症に対するリスク管理の観点から、入学者選抜試験に合格した入学予定の留学生（日本国内の他大学、高等専門学校及び日本語学校等出身の留学生を含む）は、入学前の3ヵ月以内に医療機関で医師が作成した健康診断書を、原則入学前までにご提出いただきます。詳細は下記 URL を参照してください。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/health/international>

XV. 個人情報の取扱い

出願書類に記載の情報は、入試及び学務関連業務のみに使用します。個人情報の取り扱いは以下のとおりになります。

1. 出願にあたり知り得た個人情報については、①入学者選抜業務、②入学手続業務、③授業料徴収に関する業務を行うために利用することとします。
2. 出願にあたり知り得た個人情報及び入学者選抜の試験成績は、入学者のみ、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）の業務を行うために利用することとします。
3. 入学者選抜の試験成績は、今後の入学者選抜方法等の検討に利用することがあります。
4. 上記1～3の各種業務での利用にあたり、一部業務を本学より委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
5. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

XVI. 注意事項

1. 本学の総合型選抜と本学の学校推薦型選抜の併願はできません。
2. 出願後の提出書類の内容変更は認めません。記入時には十分注意してください。
3. 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、合格等を取り消すことがあります。
4. 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
5. 入試に関する最新情報は、「高校生・受験生向けサイト」で公表しますので、ご注意ください。

東工大教育ポリシー

本学では、以下に記載している「教育目標」と「養成する人材像」を掲げるとともに、全学及び各系で「卒業認定・学位授与の方針(ディグリー・ポリシー)」、「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」、「入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)」を定め、教育ポリシーとして位置づけています。

教育ポリシー全文は次の web サイトに掲載中です。

[教育ポリシー] ≪ [東工大の方針] ≪ [東工大について] ≪ [本学 HP トップ]

<https://www.titech.ac.jp/0/about/policies/education>



教育目標

知的好奇心に端を発した学術研究は新たな技術と産業を生み、不可能を次々と可能にし、現代社会を築いてきました。

現在も、真理の探究と知の継承及び発展に加えて、持続可能な社会に導く革新的科学技術の創出が求められ、世界最高水準の研究とともに教育に対する期待がますます高まっています。

それに応えるべく、本学では、

- ・ 確かな専門力
- ・ 豊かな教養力
- ・ 柔軟なコミュニケーション力
- ・ 以上の修得した知識や技能等を統合し活用できる多様な展開力

を身に付け、「挑戦し続けるフロントランナー」として困難に立ち向かう気概と倫理観をもって、より良い社会を築くことができる人材を養成します。

そのために、世界最高水準の研究の中に学生を招き入れ、学生が自ら学び考える教育を実施します。

養成する人材像

確かな専門力、豊かな教養力、柔軟なコミュニケーション力、多様な展開力を身に付け、科学技術を基盤としてより良い社会を築くことができる、「挑戦し続けるフロントランナー」を養成します。

≪学士課程≫ 「科学技術を基盤として自ら学び考えることができる人材」

学士課程では、基盤的な専門力、並びに、幅広い教養、そして、論理的に表現できる力を身に付け、倫理観と未知の世界に挑戦する意志をもって、自ら学び考えて物事に取り組むことができる人材を養成します。

※問い合わせは志願者本人が行うこと

東京工業大学 学務部入試課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-1-2-1-W8-103
TEL (03)5734-3990 (平日 9:00~17:15 (12:15~13:15 を除く))

※入試に関する最新情報等

東京工業大学ホームページ <https://www.titech.ac.jp/>

「高校生・受験生向けサイト」 <https://admissions.titech.ac.jp/>

MAP

- 大岡山キャンパス 東急大井町線・目黒線(大岡山駅下車徒歩1分)
- すずかけ台キャンパス 東急田園都市線(すずかけ台駅下車徒歩5分)
- 田町キャンパス JR山手線・京浜東北線(田町駅下車徒歩2分)

